

県内27万人利用の生活習慣病予防健診 一般健診の補助率を62%から72%へアップ

○ 全国健康保険協会(以下、「協会けんぽ」)では、35歳以上の加入者(ご本人)を対象に生活習慣病予防健診を推奨し、健診費用の62%を補助しております。現在の利用者は広島県内で約27万人です。

○ このたび、健診受診率向上の観点から、令和5(2023)年度より、一般健診の補助率を10%アップし、72%とすることとしました。これにより、健診利用者の自己負担率は38%から28%に10%軽減されます。

■生活習慣病予防健診(別紙1)

- ✓ 利用者 県内271,498件(全国10,196,362件)
- ✓ 対象 35歳以上の加入者(ご本人)
- ✓ 一般健診 3種のがん健診を含む生活習慣病の予防、疾病の早期発見を目的とした健診
- ✓ 自己負担 一般健診18,865円が自己負担額5,282円(28%)に ※金額は最高額

○ また、疾病の早期発見の目的、定年延長の状況等を踏まえ、付加健診の対象年齢の拡大及び自己負担の軽減も行います。(別紙1)

(対象年齢拡大は令和6(2024)年度から、自己負担軽減は令和5(2023)年度から実施)

○ 健診の受診により生活習慣病の予防、早期発見が可能となり、加入者のQOLの向上、将来的な医療費増大の抑制につながります。協会けんぽでは、健診の結果、生活習慣の改善が必要な方には健康サポート(特定保健指導等)を、治療が必要な方には医療機関への受診勧奨を行い、加入者の健康増進を図っています。(別紙2)

○ 現在、生活習慣病予防健診の受診率は50~60%で推移しており、今後さらなる利用促進に当たっては、加入者・事業主への周知と、関係機関と連携した取組みが重要と考えております。引き続き受診率向上に向けた各種事業の実施やPRに努めてまいります。

特に、健康づくりの好循環を基幹として考え、定着・拡大に注力いたします。

【協会けんぽについて】

中小企業等(約254万社)で働く従業員やそのご家族(約4,044万人)が加入している日本最大の医療保険を運営する公法人です。

- ・ 加入事業所数(広島支部) : 58,379事業所(令和4年9月時点)
- ・ 加入者数(同上) : 1,079,557人(令和4年9月時点)

＜本件に関するお問い合わせ＞

全国健康保険協会広島支部
保健グループ
担当：西岡
Tel.082-568-1032